

次世代育成研究・見やらい



尚絅短期大学子育て研究センター

第3巻 2006年

はじめに

子育て支援をめぐる状況は依然として混沌としている。政府は少子化に歯止めをかけようといろんな施策を打ち出してくるが、実効のないまま、子育てスパイラルという悪循環に陥っているように見える。例えば、施策の実行とその結果責任は地方分権の名の下に市町村に移行しつつあるが、多くの地方公共団体は具体的な子育て支援対策の明確なビジョンもなく、財源もない。

身近なところでは、熊本市の子育て支援のシンポジウムの後で、ある女性から質問を受けた。「私の地域では立派な子育てネットワークができました。しかし、子どもがいません。」この状況は、子育て支援の現状を端的に表現しているのではなかろうか。子育て中の親子の周りで、子育て支援、子育て支援と声高に叫べば叫ぶほど出生率は減少し、育児不安が拡大するという奇妙な現象が起きている。

我々は、もう一度、子育て、子育て、親育ち、そして子育て支援とは何かを捉え直す時期にきているように思う。

ともあれ、「次世代育成研究・児やらい」第3巻を発刊することができた。今回の特徴の1つは、平成18年度の公開シンポジウムで招聘を予定しているスウェーデンの社会・教育学者のブライアン・アッシュレーの論文を掲載することができたことである。その他、心理カウンセラーである臨床家と研究者の協働による親育ち支援に関する論文を掲載できたことも今後の研究の方向性を探る上で参考となろう。

子育て研究センター長

浜崎幸夫

目 次

はじめに	1
浜崎幸夫（子育て研究センター長）	
I 論文	
1 スウェーデンのチャイルドケア・システム	3
ブライアン・アッシュレー（スウェーデン・オープンプレスクール政府要員）	
2 日本の幼保一元化の現状と課題	13
浜崎幸夫（子育て研究センター）	
3 幼稚園における親と子の育ちに関する研究(Ⅱ)	21
一家庭における表現あそびー 竹下昭代、青木理子、長崎あや子、永松亮一、林原隆治 （子育て研究センター幼稚園プロジェクト）	
4 親の発達過程をどう捉えるか	31
三浦祐子（心理カウンセラー）	
II 研究ノート及び書評	
1 子育て力を伸ばす働きかけとは？	39
ー子育て支援教室への参加記録からー 森野美央（子育て研究センター）	
2 書評『少子化時代のジェンダーと母親意識』	43
中村真弓（子育て研究センター）	
III 第5回尚絅短期大学子育て研究センター公開シンポジウム記録	
テーマ：子どもの現状と子育て支援	45
ー保育所、幼稚園、小学校、そして助産婦・保健師の立場からー	
1 保育園の視点から	53
大滝喜和子（ひまわり保育園）	
2 幼稚園の視点から	57
岡嶋滋子（熊本市立碩台幼稚園主任教諭）	
3 肥後ちゃんかけごまの体験活動を通して見えてきたもの	61
井手道信（熊本市立春日小学校教諭）	
4 助産師・保健師の視点から	69
桐原良子（大津町開業助産師）	